

INTER KYOTO

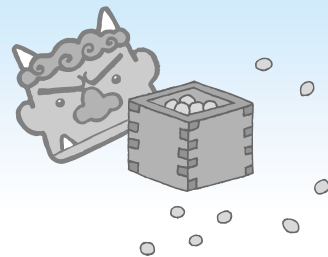
インターキョウト

CONTENTS

2007.1.31 No.32

会長直言 京情協の広報活動強化をめざして	1
新春オープンセミナー・賀詞交歓会	2
京都情報化オープンフォーラム	2
第4回 経営研究会	3
ANIA秋季総会	3
第9回 親睦ボウリング大会 開催	4
「第10回異業種京都まつり」出展・情報交流会開催	4
会員だより	5
元気 [®] の企業紹介 関オークシステム/日本コンピューターファシリティ(株)	
協会だより	6

社団法人京都府情報産業協会
発行：広報委員会



会長直言

京情協の広報活動強化をめざして

(社)京都府情報産業協会 会長 長谷川 亘

新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い申し上げます。

新年を迎え、会員企業の皆様におかれましては、事業の発展に邁進しておられることとお慶び申し上げます。年頭のご挨拶をかねて、新年の抱負を述べさせていただきたく存じます。京情協の発展のためには、何よりも会員企業各位に継続して協会にご参加いただくとともに、新会員の増強を図ることが重要となります。その目的達成のため必要であると私が考えるのは、京情協の広報活動の強化です。各種のイベント等の事業を通じて京情協の存在や活動を、より多くの皆さんに知っていただくことが大切です。協会の知名度がさらに向上すれば、会員企業各位にとってのメリット創出にもつながり、ひいては新会員の増強にもつながるものと確信いたしております。これまで、会員の増強については事業推進委員会の皆様を中心に、広報活動については広報委員会の皆様を中心にご尽力いただきましたが、さらに協会全体で京情協の知名度向上にむけ傾注することが肝要です。

さて皆様もご承知のとおり、昨年5月に新しい公益法人制度に関する諸法が国会で成立いたしました。施行されるのは平成20年からとなりますが、これは明治29年の民法制定以来の大改革と言われており、今後の京情協の運営を考える上でも看過しえないものです。今回の制度改革の概要をかいつままで整理いたしますと、まず非営利団体の設立の際は、官庁の影響力が排され、公益性の有無や目的にかかわらず、簡便に法人格を取得できることになりました。その法人は「一般社団法人」「一般財団法人」と呼ばれ、原則課税となります。さらに、それらの団体の中で、公益性があると認定された団体だけが「公益社団法人」「公益財団法人」となり、税制等の優遇が受けられるこ

とになります。今回の公益法人制度改革によって、現行の公益法人は新制度の施行日である平成20年から「特例社団法人」とされます。公益社団法人となるためには、移行期間と定められた5年後の平成25年までに公益性の認定の申請を行うことが必要となります。

言うまでもなく京情協は「情報関連技術の普及および利活用に関する諸事業を行うことにより、地域社会の情報化を促進し、もって府民生活の向上に寄与すること」を目的とする公益社団法人であり、こうした時代の変化を見据え、今後の京情協運営について会員の皆様との議論も必要となるかと存じます。

公益社団法人の事業は公益性の追求を目的としますが、協会の発展のためには、会員企業の大多数を占める営利企業になんらかの形でメリットを還元することが必須です。公益性の追求と会員企業のメリットの追求の調和は困難なようにも見えますが、両者は必ずしも矛盾するものではなく、公益性を追求する京情協の事業活動を通じて、結果として会員企業にメリットを還元できる仕組みの確立に向けて、会員企業の英知を結集したいと存じます。

最初にも述べましたとおり、まず取り組むべきは京情協の広報活動の強化であると存じます。情報発信をさらに強化し、「京の都に京情協あり」と言われる地位の確立を目指したいと存じます。

会員企業の皆様におかれましては、協会活動への変わらぬ積極的なご参加・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



新春オープンセミナー・賀詞交歓会

開催報告

日時：平成19年1月18日(木) 16:00～17:30
 会場：平安会館 白河の間
 テーマ：「逆境にこそ夢を」
 講師：木村 紫晃 氏 招徳酒造(株)代表取締役
 参加者：70名

正保2年(1645)創業、350年以上の歴史を誇る招徳酒造(株)は、老舗でありながら常に先進の技術を取り入れ、ベンチャー気質を持って新たな経営に取り組んできました。代表取締役の木村紫晃氏は、「この20年間、日本酒の消費量は減少し、市場規模は最盛期の半分程度にまで縮小している。どうすれば勝ち残れるかと考えたとき、流行ばかりを追求するのではなく、伝統技術をもう一度見直して、“ほんまもん”にこだわった日本酒をつくるべきだと思った」と話しました。逆境にあるからこそ、決して夢をあきらめ



ず、良質の米、おいしい水、伝統製法にこだわり続け、消費者の信頼を得てきたという同社の姿勢には、私たちも学ぶべき点が多いと感じました。

新春セミナー終了後は、新春恒例の賀詞交歓会が行われ、長谷川会長の乾杯の挨拶の後、会員同士の懇親が図られました。



木村 紫晃氏

長谷川会長



経済産業省情報化月間協賛

主催：技術委員会

京都情報化オープンフォーラム

開催報告

日時：平成18年10月23日(月) 15:30～17:00
 会場：平安会館 白河の間
 テーマ：「RFID&ケイタイがもたらす新しいライフスタイル」
 講師：大橋 正良 氏 KDDI(株)技術開発本部開発推進部長
 参加者：75名(会員35名、会員外40名)

10月の経済産業省情報化月間協賛行事として、「RFID&ケイタイがもたらす新しいライフスタイル」についてオープンフォーラムを開催しました。ケイタイ+RFID(電子タグ)を融合した数多くの適用分野への応用が実証実験を通して行われています。まるで頭上にくまなく広がる雲のように、コンピューティングが自然に私たちの周りに存在して、ユビキタスネットワーク社会への実現が身近に感じられる講演内容でした。

また、経済産業省のユビキタスプロジェクトで将来像を描いた「空から舞いおちる情報タグ」のビデオ放映も、現実性を帯びた内容で非常に面白く拝見しました。



大橋 正良氏

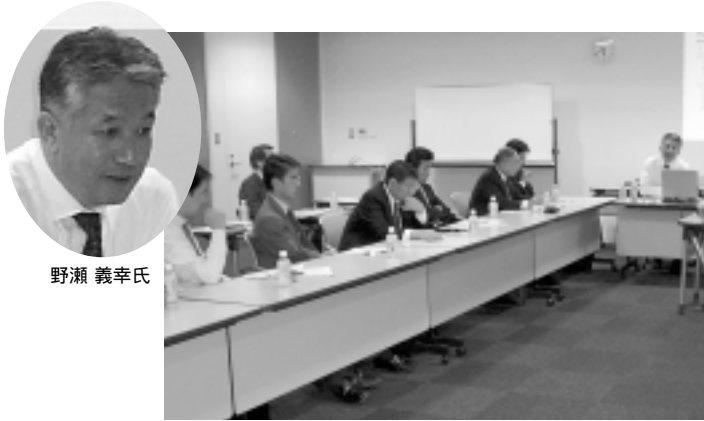


第4回 経営研究会

開催報告

主催：経営委員会

日 時：平成18年11月16日(木) 16:30～18:45
 会 場：京都コンピュータ学院 西館 4F会議室
 テーマ：「外国人技術者の活用」
 講 師：野瀬 義幸氏 (株)呉電子計算センター常務取締役
 参加者：16社 22名



野瀬 義幸氏

20年を超える中国事業の経験をもとに、中国技術者の受け入れ(派遣的受け入れ) 中国オフショア 中国技術者の採用という3つの角度から具体的に講演していただきました。文化や習慣の違いに対しては、日中交流講座の開催やプロジェクト完了時の総括会などで対応しているということが紹介され、「信頼すれば信頼される」「WIN-WINの関係構築」という点が結論として語られました。そのほか、キャリアアップや処遇への不満による経験者の流出への対応、経験不足による受け入れ側の態勢改善などについて興味深い話がありました。最後に、呉電算様から中国技術者を受け入れている京信システムサービス様による、外国人技術者の活用についての体験談があり、研究会を終了しました。

ANIA 秋季総会 報告

ANIA辻正会長の挨拶に続いて、事務局による定足数の確認により有効に成立報告の後、辻会長が議長に選出され議案審議に入った。

日 時：平成18年10月24日(火)
 15:00～
 会 場：東海大学校友会館 三保の間
 (霞ヶ関ビル33階)

主な審議事項と決定内容

1. 会長選出の件
 中村真規 副会長(北海道)を会長に選任し、同氏は就任を承諾された。
2. 理事選任の件
 ぎふ大会にて全員理事との決定がされたが、理事会と総会の差がなく、10名程度にすべきとの意見が採択され、その後12名の理事と2名の監事が選任された(12名の理事の一人に京都の長谷川会長も選任された)。主な内容は次の通り
 名誉会長 辻 正氏(岐阜)
 相談役 中島 博氏(岡山)
 1. 役員任期 2年間(平成20年春までの約1年半)
 2. 事業予算 ぎふ大会で承認されたものに基づいて進める(来年の総会で修正)
3. 報告事項
 1. ちば大会開催について(全体スケジュールの説明)
 平成19年6月6日(水)～8日(金)
 京成ホテル・ミラマ・レ(駅ビル)
 2. 退会会員1、休会会員1
4. その他
 京都の長谷川会長からANIA会長に対して、現在、専門大学院のうち、法科大学院の評価をする認証評価機関はあるが、IT専門職大学院を評価する認証評価機関がないことからANIAがその任に相応しいとして文科省に申請してはどうかとの提案がされた。当件については、11月の理事会で検討することになった。秋季総会に続いて、総務省総合通信基盤局電波部基幹通信課長の斉藤一雅氏による「ワイヤレスブロードバンド時代の到来」の講演、その後に親睦交流会が開催された。
 (文責：事業推進委員長 駒井一正)



長谷川 京情協会長





第9回 親睦ボウリング大会を開催

平成18年12月1日(金) 第9回親睦ボウリング大会が「MKボウル上賀茂」で開催され、21チーム63名の参加者により熱戦が繰り広げられました。今回も前回に引き続き、優勝候補のチームを中心に一喜一憂の白熱したゲーム展開となりました。競技の後の表彰パーティーでは、参加企業ならびに参加者同士の親睦交流が大いに図られました。

団体の部
 優勝 オムロンソフトウェア㈱A 979点
 準優勝 京都コンピュータ学院A 977点
 3位 京都電子計算㈱A 974点

個人の部
 優勝 牧野 憲一 379点 オムロンソフトウェア㈱A
 準優勝 中村 裕之 372点 けいしんシステムリサーチ㈱A
 3位 上田 治文 363点 京都コンピュータ学院A

団体優勝喜びの声

牧野 憲一さん

団体優勝ならびに個人優勝の2冠を達成でき、大変感激しています。途中、イライラする場面もありましたが、努めて冷静を保てたことが勝利の要因だと思っています。連続優勝を目指して、1年間練習に励みます。



優勝したオムロンソフトウェア㈱Aチームの皆さん

山中 泰夫さん

個人的には調子が悪かったので、チームの皆にすぎた形になりましたが、優勝できて光栄です。表彰されることで皆様との親睦も一層深まると思います。次回は足を引っ張らないように頑張ります。

北野 義典さん

私自身は終始チームのアベレージを下げていました。ただチームメイトが優秀だったので、上位入賞も少し意識しており、団体優勝を知らされたときは、自分のスコアも忘れて喜ぶことができました。

個人優勝喜びの声

牧野 憲一さん

短期決戦は苦手なので、まさか個人優勝とは思いませんでした。2位の方とはハンドの差だったと聞き、大変申し訳なく思っています。2ゲーム目、第10フレームで粘ってダブルを出せたことが勝因です。楽しませていただいた上に賞品までいただき感謝しています。



「第10回異業種京都まつり」出展報告

日時：平成18年10月26日(木) 10:00~16:30

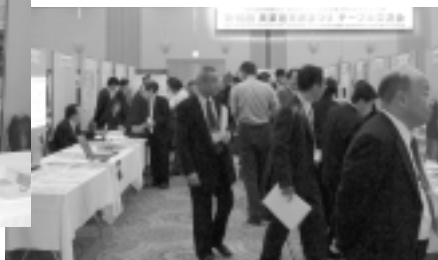
会場：京都全日空ホテル

テーマ：「みんなでコラボおもしろ交流」

新技術・新製品発表、市場開拓、ビジネスパートナー発掘の場として、京都府異業種交流会連絡会議や京都府などが主催しました。企業が成長を遂げていくためには、異分野の技術力、マーケティング力、経営ノウハウなど様々な企業資源を相互に活用しあう「異業種交流・新連携」が重要な経営戦略となります。京情協も京都インターネット利用研究会のブースの一角に広報パネルとパンフレットを配布し、PR活動に努めました。



和田事務局長(右)と
河合広報委員長



会場風景

(社)システムエンジニアリング岡山との情報交流会 開催!!

日時：平成18年11月17日(金)

会場：京都コンピュータ学院京都駅前校 4階会議室

講師：原田 智氏(京都府総務部電子府庁推進室長)

参加者：(社)システムエンジニアリング岡山様 13名
(社)京都府情報産業協会 地域情報化委員など14名

「行政と情報産業界の関わり」と「情報産業界が取り組むべきリクルート活動」等について、活発に情報交流を行いました。なお、今回の交流会は、地域情報化委員会が昨年行った先方訪問がきっかけで実現しました。



会員だより

会員企業、社員の皆さんのユニークな取り組みやトピックスを紹介するコーナー。
我こそはと思われる方は、自薦・他薦を問いませんので、ぜひ事務局までお申し出ください。

元気印の企業紹介

皆さんの企業をレポートします

(株)オークシステム

情報リスク評価の
独自基準を確立

流通業界の店舗レジシステム、官公庁の事務処理パッケージシステム等の開発・導入・サポートで実績を上げておられます。企業理念として「他社にない卓越したソフトウェア技術を追求する」を掲げているように、単にお客様の要求を受け入れるだけでなく、これまでの業務知識、経験を生かしたアドバイス・提案を行っているのが特徴です。近年、特に情報リスク評価と対応の妥当性について、独自のノウハウを構築することが求められています。同社では、PマークやISO9001を取得することにより、社内外から評価を得られるような情報セキュリティシステムの強化向上と、個人情報保護に配慮した製品開発を進めていこうと考えておられます。

今後の重要課題の一つは、企業理念を実現する前向きな人材を育成すること。「与えられる人ではなく、知識・経験・スキルを与える人材を養成・教育していくことが大切」と話されます。情報セキュリティに向けられる視線が厳しさを増す中、これからの取り組みに期待が寄せられています。

京都市右京区西院西矢掛町32-3
TEL 075-325-3491

日本コンピューターファシリティ(株)

人と情報と通信の
インテグレーション企業

“人間”と“情報技術”と“通信技術”の複合的な融合を軸とし、新しい情報システムの企画、設計、開発及びコンピューターシステムのファシリティマネジメントからネットワークシステムの構築、ソフトウェアの開発まで一連の業務を行っておられます。また、リアルタイムで効率的な社内情報処理システム（イントラネット）を提供すると同時に、ユーザーのニーズに基づいたオフィスワークシステムの設計、開発なども行い、企業運営の合理化、インフラに寄与しておられます。

ITをいかに使うかが企業の明暗を分けるといわれる今日、情報なくして戦略は立てられません。とはいえ、情報さえあれば戦略を立てられるわけでもありません。同社が目指しているのは、それらをサポートするソフト開発集団“人と情報と通信のインテグレーション”だと言えるでしょう。今後も「使える・役立つユーザーサイドのシステムを追求し続けていきたい」と決意を新たにされています。

京都市下京区仏光寺通烏丸東入ル上柳町315-13
サンライズビル

TEL 075-351-1881
URL <http://www.we-are-jcf.jp/>

協会だより

正会員 59社
特別会員 1名
賛助会員 7社

事業推進委員の積極的な会員増強運動により
成果を得ることができました。
会員の皆様も入会紹介、勧誘にご協力ください。

技術セミナー 開催

技術委員会

日時：2月1日(木) 10:00~17:00
会場：国立京都国際会館 イベントホール横
テーマ：「京都IT実践フェア」

主なセミナー

1	10:30~11:30 『Windows Vista & the 2007 Office system (Excel/Word/PPT)の魅力』~大幅に改善された各種機能を既存バージョンとの比較を交えご紹介~
2	13:00~14:00 『Windows Vista & the 2007 Office system (Excel/Word/PPT)の魅力』~大幅に改善された各種機能を既存バージョンとの比較を交えご紹介~
3	14:30~15:30 『Windows Vista 上でのアプリケーションの開発について』(技術者向け)~NET Framework3.0のご紹介と開発手法についてご紹介~
4	16:00~17:00 『Windows Vista & the 2007 Office system (Excel/Word/PPT)の魅力』~大幅に改善された各種機能を既存バージョンとの比較を交えご紹介~

(1.2.4は同内容のセミナー)

最新製品を実際にさわって体験していただける『タッチ&トライ コーナー』も設けています。

主催 (社)京都府情報産業協会
後援 京都府中小企業技術センター、(財)京都産業21
協力 京都商工会議所、マイクロソフト株式会社

「公認情報セキュリティ監査人」 資格取得研修・トレーニングの案内

公認情報セキュリティ監査人制度とは、公正かつ公平な情報セキュリティ監査を実施し、有益な情報社会を目指すことを目的として、特定非営利活動法人日本セキュリティ監査協会(JASA)によって創設された制度です。(株)ケーケーシー情報システム(京情協会員)では、当監査人の資格を取得するために必要な専門知識・技術力を高める研修トレーニングを開催します。詳細についてはお問合せください。

問合せ先 (株)ケーケーシー情報システム
TEL: 075-465-9203
Mail: kansacenter@kkcjoho.co.jp

事務局員 川岸絵美子さん退職
(株)KCGキャリアの川岸絵美子さんが、昨年12月で退職されました。

お知らせ

SE研究成果発表会 開催

技術委員会

日時：2月14日(水) 18:00~19:00
会場：平安会館 羽衣の間
テーマ：「品質」「情報セキュリティ」
「新技術・開発効率」

第2回 情報交換広場 開催

経営委員会

日時：2月15日(木) 16:30~18:30
会場：ばるるプラザ京都
テーマ：「人事評価制度について」

平成18年度 第2回通常総会 開催

日時：3月30日(金) 15:00~
会場：平安会館 2階
テーマ：1. 通常総会
白河の間 15:00~
「平成19年度事業計画・予算などについて」
2. 会員懇親会
朱雀の間 17:45頃~(総会終了後)

京情協ホームページをリニューアル!

2006年秋に京情協ホームページをリニューアルしました。今後も各委員のご要望を反映してグレードアップしていきますので、広報委員までご連絡くださいますようお願いいたします。

Coffee break

~ミニ・ホエム~



オリンピックスタジアムの 曲線が
見たこともない数式に 置き換えられ
白い壁に 浮き出た染みの ひろがりて 魚が跳ねる

人生っていうのは単純な構造物だ。
だいたいリセット一つできやしない。
前に突っ走って塗り替えるしかない。

ジョナサン

編集後記 新春早々の第32号の発行となりました。いかがでしょうか?
本年も会員の皆様、本誌をお読みいただいている皆様にとって良い1年となりますように...
京情協のホームページもリニューアルされていますので、ぜひご活用ください。

京情協 WEB CONTENTS <http://www.kyojyokyo.or.jp>